



チマッティ神父を慕っておられる皆さん、クリスマスと新年、お祝い申し上げます。神のお恵みがありますように。ご覧のとおり、チマッティ・ニュースは衣替えしました。読まれる人数が多くなり、手作りでは間に合わなくなったからです。読みやすくなったことでしょうか。では、今年の報告と新年の予定をお知らせいたします。

チマッティ資料館25周年

2008年、チマッティ資料館建設25周年です。初代館長クレヴァコーレ神父のお陰で、今、私たちはこの貴重な資料を見ることができますが、ご存知のとおり、師は、落成式翌日、脳溢血で倒れ、左半分不自由になっても、神に呼ばれた1995年まで献身的に自分の使命を果たしました。資料館の中身は、現在も少しずつ

充実しています。今年は、チマッティ神父が田野教会で使用した見事な刺繍を施された祭服、またそこに飾った聖テレジア像が寄贈されました。共に二階で見られます。また、当時、宣教師たちが要理教育に使っていた大型イラスト集2巻も贈呈され、皆の関心を引いています。



「祈るチマッティ神父カレンダー」

2008年のカレンダー「祈るチマッティ神父」を紹介します。神と一致して深く祈っておられる師の姿！一年間、その手本と言葉を目の前に置いて祈りを学ぼう

にしたいと思います。お友達にもカレンダーをご紹介なさりたいならば、資料館に追加部数をご注文ください。

コンプリ神父ミサ50周年

2008年はまた、私が神に感謝すべき年です。初ミサを奉げた50周年になるからです。1958年3月9日、下井草教会でチマッティ神父を傍に、司祭に叙階されました。その日、師は私たち3人新司祭の前に跪き、謙虚な態度で祝福を願いました。今も目の前に浮かびます。私が師を見習うように共にお祈りください。

調布新聖堂の建設

今、調布教会新聖堂が建設中です。来年の5月ごろ完成の予定です。これはチマッティ神父の念願でしたが、師は、資金不足のため、小聖堂として既存の倉庫を改造し、それだけで満足せざるを得ませんでした。それは、後にチマッティホールとなり、2007年4月取り壊されて、今度の新聖堂に場所を譲ることになりました。チマッティ神父は、天国から調布教会の上に神の恵みを祈っておられるでしょう。



巡礼が増える

この一年、チマッティ神父の墓への巡礼、特に教会の信徒団体、修道院、学校のグループが目立ちました。師の取次ぎにより不思議な治癒の報告も目だっています。皆さんのお祈りに効き目があるようです。まだ調査中ですが、たとえば、交通事故で20メートルも飛ばされた小学生が重症を負い、一週間後意識不明から目覚めて完全に治ったこと。白血病で臨終だった方が、

友達の祈りがあって、二日後退院したこと。中耳がんにかかった方が手術なしに完治したこと等。奇跡と言えるかどうか分かりませんが、不思議な出来事です。2008年11月24日、長崎で188名日本の殉教者が福者にされますが、チマッティ神父も早く列福されるように祈ります。



チマッティ神父、ラヴェンナ・フェスティバルに

今年の大イベントはチマッティ神父の音楽がラヴェンナ・フェスティバルで上演されたこと。名指揮者 Riccardo Muti の奥様 Cristina 女史と A. Nicastro 氏の尽力により、7月15日、モザイクの名所サンタポリナレ・ヌオヴォ大聖堂でコーラス Ludus Vocalis がチマッティ神父の「Missa SAEPE DUM CHRISTI」を歌い、指揮者 S. Sintoni 氏、伴奏者 A. Berardi 氏、主式コンプリ神父、数名の司祭共同司式で荘厳なミサが奉げられ、満員の聖堂で17名の日本人巡礼者も大感激！



『聖フランシスコ・サレジオ』のオペラ

チマッティ神父の命日の記念ミサを奉げた10月6日の翌日、調布サレジオ神学院聖堂においてオラトリオ形式で『聖フランシスコ・サレジオ』のオペラが上演されました。これは1924年作曲、同年トリノで上演されましたが、翌年12月チマッティ神父が日本へ向かい、楽譜を持参したため二度と上演されませんでした。今回、二度目でした。出演者をはじめ、ご出席の皆さんもその美しさに感銘！是非、また上演したいのです。



手紙全集一般公開

方々から「チマッティ神父の手紙第5巻、いつ出ますか」と聞かれますが、実は今年は断念しました。『チマッティ神父手紙全集』という大事業を手がけたからです。日本語ではなく、イタリア語原文のことです。資料館には6,000通以上の師の手紙があり、引き出しに埋もれたまま、未発表でした。そのため、研究は進み

ません。やっと、5年間の仕事で、10月末にすべてが発表されました。イタリア語を読める方なら、インターネット上 SALESIAN DIGITAL LIBRARY を開いて全部読めます。資料館のホームページからも簡単にリンクできます。日本語の第5巻は少々お待ちください。できるだけ早く出したいと思います。

5つのDVDが完成

世の中は技術が進み、もはやビデオの時代ではない、と多くの方から言われました。そのため、これまでの「チマッティ神父の生涯」をはじめ、「カトリック入門」また「聖書の常識」2巻のビデオをDVDに変換し、見やすい形で再販することにしました。これらに「聖骸

布」のDVDを加えれば、11時間の出演です。ミサ50周年にあたって、キリスト教を紹介するこの大特集を手ごろの値段で、分かりやすく、おもしろく実現できたことを神に感謝いたします。ご注文、ご活用なされば、私にとって最高のプレゼントです。(別紙参照)

講談社から『聖骸布の男』

ある人は、コンプリ神父と聞くと、聖骸布を連想するそうです。私は、自分がそれだけではないと自負しますが、聖骸布に深い興味があるのは確かです。今年、月一回6回にわたって12時間、平均出席者40名のために講義をし、6月講談社の協力を得て、最新の写真

に基づいて、聖骸布の人上半身等身大のポスター入りB4判の本も出しました。聖骸布の世界権威者 Ian Wilson 氏の判断では、この本に見られる鮮明なカラー写真は世界中どこにも見られません。教



皇様に献上し、感謝のお言葉と祝福されたロザリオをいただきました。聖骸布について日本に多くのデマや不信感があるようですが、私は申し上げます「百聞は一見にしかず」と。説明するDVDもありますので、どうぞ、お楽しみに。



皆さんのための祈り

ミサ50周年を祝うにあたって、私は、日本で宣教師として働く恵みを与えてくださった神様に心から感謝いたします。命を与えてくださる限り、残りの人生をこのために奉げるつもりです。毎日、そのお墓の前でチマッティ神父が神様の元でお恵みを取り次いでくださるよう祈ります。特に、毎月6日10.30のミサで、参加者と共に参加できない方々のためにもお祈りを奉げます。資料館でお目にかかれることをいつでも楽しみにしています。

2007年12月6日 チマッティ資料館 ガエタノ・コンプリ神父